

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	コンベンション誘致支援事業		担当部署	経済建設部 観光振興課			
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市コンベンション開催支援助成金交付要綱			
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成	12年度	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			観光		
(小項目)				01			
施策	観光・交流のまちづくり						
基本事業	4	にぎわいと交流の創出		終期	未定		

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 コンベンションの開催者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を行うものを対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることで市内への流入人口増大及び地域経済の活性化を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		コンベンション参加者数	11,500	12,000	12,500	13,000	13,500	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	要綱改正後の初年度となることから、継続大会への助成を例年どおり行い、申請者に対して継続大会については、1年目、3年目、5年目と1年空けての助成とする改正内容の説明を行うなど、周知を図った。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	助成金交付件数	17	11	16	17	18	件
	2	コンベンション関係宿泊人数	4,790	2,037	3,400	3,500	3,600	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	コンベンション参加者数		13,236	9,257	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			77.1	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		1,300	710	910	910	910	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,300	710	910	910	910	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,603	2,013	2,213	2,213	2,213	千円	

【事務事業名:コンベンション誘致支援事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	継続大会については1年空けての助成とすることにより、これまで助成していた財源の一部を新規団体の誘致に充て、より効果的なコンベンション誘致施策を展開する。 新規コンベンション誘致のため、徳島県・県観光協会を中心に設立した「とくしまコンベンション誘致推進協議会」との連携を図るとともに、県内各種スポーツ団体や文化団体等へのアプローチを行う。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	事業廃止により、コンベンション開催件数の減少やそれにもなう交流人口の減少が危惧される。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	宿泊をともなうコンベンション支援により、コンベンション開催の動機づけとなり、交流人口の増や経済効果が見込まれる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	助成金の総額に占める割合が大きかった継続大会への助成を1年空けての助成とすることにより、新規団体誘致に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				